

大阪府立東住吉高等学校進路指

『認める・励ます・応援する』

進路指導部として進路指導を行う方針を『認める・励ます・応援する』としました

1. 認める (Accept)

生徒自身も自分の可能性を信じ、教員も生徒の可能性を認める。
勝手に自分の限界を決めず、安易に妥協することなく、将来の夢に
渾身のアシストを行う。

2. 励ます (Encourage)

低学年時から進路学習や『志』を通じて、生徒の学びたい意欲を
生徒のモチベーションを刺激するさまざまなアプローチを行う。

3. 応援する (Support)

上級学校の合格だけを求めることなく、その先の人生を豊かな
一人ひとりの進路希望の実現に向けて教員集団として生徒を支援

また、各学年ごとに進路のテーマを設定しました。

1年 進路 『進路を究める』

将来自分が何をして社会参加して働くのか、皆さんはいくつぐ
警察官、看護師、教員、普段よく目にする仕事の中から自分の将
世の中は実にさまざまな仕事に携わる人々によって支えられてい
社会人になった時自分はどんな仕事に就きたいのかを『志』や進
将来の目標を定めましょう！

10年後の皆さんはどんな仕事に就いているでしょうか？

2年 針路 『進路を定める』

さまざまな仕事の中から自分が真剣に考えて選んだ仕事に就く

その目標を定める。

入れる大学ではなく、入りたい大学を探し、家から近い大学では
3年後の皆さんはどこで何を学んでいますか？

3年 伸 路 『進路を叶える』

自分が真剣に考え、目標とした大学に合格するためにそこへ続
すぐに結果が出なくても努力し続け、絶対に
最後まで諦めない。決して安易な妥協はしない。

- * 但し、合格という花を咲かすことが最終目標ではなく、社会に出
大切なことであることを生徒も教員も理解し、
夢の実現に向けて生徒は努力し、教員は渾身のアシストをする。

指導部の方針

二。

、

に向かって進路決定をしていけるよう、

やる気を喚起させ、

ものにするために、

しサポートする。

らい職業を知っていますか？

来の仕事を決めますか？

いることを知り、

路ホームルーム等を通じて学び、

ためには、大学で何を学べばよいのかを考え、

なく、自分の夢に近い大学を決める。

く路を伸ばす。

てその先の人生で豊かな実を結ぶことが